

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104365
法人名	有限会社 ベストケアライフ
事業所名	グループホーム かわかみ
所在地	鹿児島県鹿児島市川上町1854番地1 (電話) 099-243-7735
自己評価作成日	平成24年11月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年12月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・理念をしっかり念頭に入れ、入居者の皆さんが元気で明るく楽しく生活できるような支援をしている。
- ・個別のレクリエーションを実施し、外食やドライブなどの行事や家族参加型の行事にも力を入れ、地域の行事にも参加している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームの職員室を中心にして、左右にユニットが配置されているため、職員の見守りがしやすい。また、夜勤は2人の職員で協力して対応できるなど、利用者及び家族の安心につながっている。
- ・利用者は、ユニット間を日常的に行き来しており、自由に交流している。  
また、2つのリビングは、間仕切りをはずすと広い空間ができるので、2ユニット合同の催しに利用している。
- ・リビングからは、スロープを伝って広い中庭に出られ、自由に散歩を楽しむことができる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている。	・ホームの理念を玄関や事務所内に掲示し、朝礼の際に指差し呼称して確認している。	毎日の朝礼で申し送りと共に理念を唱和し、職員会議や新任研修で理念についての研修を行っている。毎朝の申し送り時に、掲示されている理念を確認してからケアを始めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	・町内会へ加入し、地域の行事に参加したり、ホームへの行事へのお誘いも声かけしている。	町内会の一員として、六月灯の行事や地域の防災訓練に参加している。また、ホームの行事を回覧板で案内したり、クリスマス会に地域住民が参加している。また、サマーボランティアを受け入れる等、地域と親しく交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・回覧板を通じて地域に向けて情報を発信するなど行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・2ヵ月に1回会議を行い、町内会長や民生委員、地域包括支援センター、家族代表、ホーム職員が参加し、報告や意見交換を行っている。	運営推進会議は、議題を年度計画で決めて開催している。ホームでの状況報告や避難時の誘導のあり方や備蓄について検討するなど、運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>・介護相談員の受け入れを行っている。</p>	<p>市担当者とは、施設長や管理者等がそれぞれの立場で相談や連携を図っている。また、毎年、介護相談員の受け入れも行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・会議で話し合いを行い、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日中、玄関は鍵をかけず、外出希望の利用者には、職員が見守りや同行支援をしている。リビングや居室からも自由に庭に出ることができる。職員会議やユニット会議で身体拘束廃止についての研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・入居者の姿を会議で話し合い、行動だけではなく言動、環境、人的環境が無理強いや虐待になっていないか、言葉の暴力になっていないか見直ししている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・今まであまり取り上げていない課題なので、今後勉強をしていく必要がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・管理者の方で説明等行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・運営推進会議を行っている。</p>	<p>運営推進会議やホームの行事での集まり等で、家族の意見や要望を聞いている。また、面会や電話時に職員から声かけをして要望等を聞き、積極的に運営に取り入れている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・常勤会議等を行い、からなず全職員に連絡を行っている。</p>	<p>ユニット会議や職員会議で、気軽に意見を述べる場があり、入浴時間を午後のみだったのを午前も実施するなど、要望に対応している。また、個別の相談等は、ユニットリーダーや管理者が対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・それぞれの希望や要望に応じ、働きやすい職場作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>・いろいろな研修会に参加し、ケアに活かしている。月1回の職員会議で職員同士の勉強を発表している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>・ホームを訪問し研修を受けたり、共に事例検討等を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>・入居者の安心と不安をなくすために同じ目線で要望に耳を傾けながら話をするようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>・家族の相談事など、ケアマネージャーに相談し指示を仰ぐ。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>・事前に施設の見学をして頂く。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>・手伝って頂けることは一緒に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	・本人と家族の絆を大切にし、面会の時など家族の立場に立ち、本人を支えていく関係が築けるよう心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・日々どんな環境の中で過ごしているのか聞いたりするよう心掛けている。	友人が電話をかけてきたり、面会に訪れている。その際にお茶を出したりして、ゆっくり交流ができるように職員が配慮している。また、2ヶ月に1回の訪問美容が馴染みの関係となっている。家族同行で行きつけの美容院を利用するなど、馴染みの関係を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	・入居者同士が仲良く過ごしやすいうように心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	・いつでも遊びに来れるような環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・日々の生活の中でできるだけ会話の時間を作り、要望を聞くよう心掛けている。	日常のケアの中で本人の意向を把握するように努めている。外食やティータイムは、自分で好きな食べ物や菓子を選ぶ事ができ、好み等を把握する機会になっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・話の中で今まで過ごして来られた状況を聞き、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	・朝の申し送り、ケア記録、グループミーティング、職員会議等により、把握できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	・必要に応じてその都度報告、意見交換を行い、適した介護計画を作成している。	面会等で得た家族の要望や職員の記録等を参考に、職員会議で介護計画を作成し、家族に説明している。モニタリングは職員の意見を参考に毎月実施し、必要時にはその都度見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・個別にケア記録を作成し、その日の特に変わった様子などを記録して、職員間で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>・本人の希望により買い物の代行、病院受診の外出支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・地域の行事やボランティアの訪問などがあり、楽しく過ごすことができる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>・ホームの協力医、又は家族の希望する病院への受診を支援している。</p>	<p>家族の協力を得ながら、かかりつけ医への受診を支援している。緊急時は、協力医療機関で適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>・朝夕交代の際、身体状況の変化を申し送りして伝え、見守る。ケアマネージャーに状態報告する。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・家族との話し合いで決めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>・健康状態を常に把握し、家族に密に連絡し話し合いで対応している。</p>	<p>入居時に家族へホームの方針を説明している。また、重度化の場合は、協力医療機関や家族・職員で話し合っ、家族等の意向に沿って対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・職員会議などを利用し、勉強をしたり外部の講習会等に参加したりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>・消防署から来ていただき消火作業の訓練をしたり、三原則として台所に張り紙し、常に意識している。</p>	<p>消防署の指導のもとに年2回、消火・避難訓練を実施している。夜間想定訓練については、より実効性を高める実施方法を検討している。非常時の水・食糧、オムツ等の備蓄はされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	・その人の考え方があり、言葉から態度から聞き取り、接する言葉に気をつけるよう注意を払っている。	入室時はノックや声かけを行い、不在の場合は入室しない等、また、入浴は個室で対応しプライバシーの確保をしている。トイレ誘導時や排泄の失敗時には、誇りを損ねないよう声かけに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	・本人との会話や本人の思っていることなど話し合う。自ら出来ることを小さなことから始める。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・その人に合ったペースで行動する。遊学の時間を利用して本人の希望に近づける。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している。	・居室から出る時外出する時本人の希望があれば取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>・食事がおいしいと言ってもらえるよう、いつも力を入れている。要望があれば少しでも近づけるよう工夫している。</p>	<p>献立は、利用者の要望を聞き、取入れている。おにぎりにしたり、形態や食器を変えたりして食べやすいように配慮している。利用者と職員と一緒に食事や片付けをしている。また、外食や喫茶店でのお茶等、食べる楽しみを感じてもらえるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>・それぞれの食べる量を決めている。バランスを考え、決まった分量を量っている。摂取量、水分量を記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>・毎食後、居室に戻り入れ歯を外し、口腔ケアを行い、自分の歯の人は歯ブラシで磨いてもらう。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>・声掛けをしてくださる入居者には一緒にトイレに行き、排泄していただく。声掛けのない入居者には、早めに声掛けをして連れていく。</p>	<p>排泄チェック表で排泄時間や量を把握している。リハビリパンツと尿取りパットの利用が主であるが、トイレ誘導して排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>・食事時はもちろん、10時15時に水分補給を行い、本人が飲みやすいようにぼかり、ジュースなどに変えたりゼリー状にするなど工夫をしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している。</p>	<p>・体調を見ながら個人の希望を聞きながら入浴支援している。</p>	<p>週3回、利用者の希望や体調によって、午前または午後の時間に入浴している。入浴を拒否する場合は、職員や時間を変えて工夫して対応している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>・昼寝の時間を設けたり居室の通気を気をつけたり、安眠できるように工夫している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>・薬は誤薬がないように気をつけ、時間を守り服薬の支援と症状の変化に気を配っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>・遊学時間などを用いてレクリエーションなどで気分転換になるようなことをしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>・時々、外出や外食など体調に合わせて実施している。</p>	<p>利用者の要望によって、個別に買い物や美容室・外食等を支援している。できるだけ戸外にかけられるように、職員も同行して対応している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>・個人で持っている方もあるが、必要があれば事務所で預かり、買い物の代行を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>	<p>・夏には暑中見舞いを書いたり、電話の要望があれば掛けて家族と話をして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・花を飾ったり気温を常に管理し、入居者がゆっくり過ごせる空間作りに努めている	リビングは、庭に面して明るく、小テーブルやソファが置かれて、自由に過ごせるスペースになっている。食堂にはクリスマスツリーを飾るなど季節感を取り入れて、温度計や湿度計を壁に設置し快適な温度・湿度が保たれるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・ソファなどを数カ所置き、入居者同士仲良く話が出来たり、思い思いに過ごせる居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・自宅より使い慣れた物を持ち込むなど工夫をしている。	居室はベッドやタンス・洗面台が設置され、ユニットによってはトイレも設置されている。花鉢やテレビ・写真・人形など、慣れ親しんだ物やお気に入りの物を持ち込み、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・出来ることはしてもらったり分かりやすいようにしたりして工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない